令和６年度　国際競争力の高いスノーリゾート形成計画（地域名略称）

|  |  |
| --- | --- |
| 計画タイトル |  |
| 計画策定者 |
| 観光地域づくり法人（又は協議会等） | 名　称 |  | 所在地 | 〒 |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 | 電話番号：メールアドレス： |
| DMO登録状況 | ※該当するものを残す地域連携DMO｜地域DMO｜地域連携DMO（候補）｜地域DMO（候補）｜未登録 |
| DMO登録予定年度 | 令和　年度登録予定　｜　登録予定なし |
| 連携先 |
| 地方公共団体（都道府県） | 名　称 |  | 所在地 | **（留意事項）*** 計画策定者については、住所は省略せず、郵便番号から全て記載すること。

また、連絡先は、電話番号、メールアドレスの両方を記載すること。* 連携先となる地方公共団体（都道府県及び市区町村）、索道事業者、スキー場事業者、宿泊事業者、交通事業者、飲食・物販事業者は必ず記載すること。
* 「地域関係者」については、（　）内に事業者種別を記載すること。
* 「地域関係者」として複数の事業者からなる団体等を記載する場合は、その構成員がわかる資料を別途提出すること。
* 地域外にも連携事業者がいる場合、それら連携事業者についても記載すること。
* 計画書の冒頭（赤字部分）及びヘッダー（右上縦書き部分）に地域名の略称を記載すること。（４字以内）
 |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地方公共団体（市区町村） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |
| 地域関係者（○○事業者） | 名　称 |  | 所在地 |  |
| 代表者 |  | 担当者連絡先 |  |

※必ず改ページ

目　次

* **提出前に目次のページ番号を更新してください。**

**「右クリック→フィールド更新→ページ番号だけを更新する」**

[１ 全体構想 ４](#_Toc123927078)

[１-１ 国際競争力の高いスノーリゾート形成において目指す姿 ４](#_Toc123927079)

[１-２ 目指す姿の実現に向けた取組方針 ５](#_Toc123927080)

[１-３ 国際競争力の高いスノーリゾート形成に向けた推進体制 ５](#_Toc123927081)

[１-４ 数値目標（ＫＰＩ） ６](#_Toc123927082)

[① 各スキー場の来場者数（チケット販売日数ベース）及びそのインバウンド人数 ６](#_Toc123927083)

[② 索道輸送人員 ６](#_Toc123927084)

[③ 各スキー場における1人あたり消費額 ６](#_Toc123927085)

[④ 長期滞在者向けリフト券（３日以上のリフト券・シーズン券）販売枚数 ６](#_Toc123927086)

[⑤ 地域内の延べ宿泊者数及びそのインバウンド人数 ６](#_Toc123927087)

[⑥ その他、地域において設定するＫＰＩ ６](#_Toc123927088)

[２ 現況・課題・今後の取組計画 ７](#_Toc123927089)

[２-１ 地域のポテンシャル・地域経営（地域の一体化）について ７](#_Toc123927090)

[① 地域内のスノーリゾートの経営の安定化、効率化に向けた取組に関する実績／計画 ７](#_Toc123927091)

[② スノーリゾート経営のリスク（降雪量、火山、感染症等）の分析及びその対策 ８](#_Toc123927092)

[③ 今後予定されている投資に関する金融機関等の参画状況や地方公共団体の支援 ８](#_Toc123927093)

[２-２ スキー場の魅力向上について ９](#_Toc123927094)

[① 各スキー場のコース数、総滑走距離、最長滑走距離、標高差並びにリフト・ゴンドラの本数及び築年数 ９](#_Toc123927095)

[② 各スキー場の経営状況 ９](#_Toc123927096)

[③ スキー以外のコンテンツの造成に関する実績/計画 １０](#_Toc123927097)

[④ スキー場内のレストハウス等の整備状況/計画 １０](#_Toc123927098)

[⑤ スキーレッスン・スキーガイドの充実、多言語化に向けた取組に関する実績/計画 １０](#_Toc123927099)

[⑥ 託児所や休憩施設など乳幼児連れに対応した取組や、雪以外でも楽しめる工夫をした取組等に関する実績/計画 １１](#_Toc123927100)

[⑦ レンタルサービスの充実に向けた取組に関する実績/計画 １１](#_Toc123927101)

[⑧ 各スキー場の過去４年間の営業開始日及び営業終了日（営業休止期間がある場合は明記） １１](#_Toc123927102)

[⑨ グリーンシーズンの誘客のための取組に関する実績/計画 １２](#_Toc123927103)

[⑩ 雪質（パウダースノー等）についての評価、それを活かした取組に関する実績/計画（バックカントリーを含む） １２](#_Toc123927104)

[⑪ スキー場来場者の安全管理に関する実績/計画（バックカントリーに関する地域ルールの策定等） １２](#_Toc123927105)

[⑫ ①～⑫以外のスキー場への投資に関する実績/計画 １３](#_Toc123927106)

[⑬ 国際大会での使用実績 １３](#_Toc123927107)

[２-３ ベースタウンの魅力向上について １４](#_Toc123927108)

[① 飲食店、小売店の整備状況/計画 １４](#_Toc123927109)

[② アフタースキーのコンテンツ造成に関する実績/計画、工夫されている点 １４](#_Toc123927110)

[③ 宿泊施設の整備状況（幅広い需要への対応、キャパシティ、スキーイン・スキーアウトできる施設等）/計画 １５](#_Toc123927111)

[④ ①～③以外のベースタウンへの投資に関する実績/計画 １５](#_Toc123927112)

[２-４ 受入環境整備について １６](#_Toc123927113)

[① 多言語対応の取組に関する実績/計画 １６](#_Toc123927114)

[② 地域全体で行う多言語での情報発信の取組に関する実績/計画 １６](#_Toc123927115)

[③ 無料Wi-Fi環境の整備状況/計画 １６](#_Toc123927116)

[④ キャッシュレス（クレジットカードを含む）決済環境の整備状況/計画 １６](#_Toc123927117)

[⑤ 公衆トイレ洋式化の状況/計画 １７](#_Toc123927118)

[⑥ 主要交通結節点からの二次交通及び地域内の二次交通の整備状況/計画 １７](#_Toc123927119)

[３ 今後のスケジュール ３-１](#_Toc123927121)

[３-１ 「２-１地域のポテンシャル・地域経営について」の取組計画の実現に関するスケジュール ３-１](#_Toc123927122)

[３-２ 「２-２スキー場の魅力向上について」の取組計画の実現に関するスケジュール ３-２](#_Toc123927123)

[３-３ 「２-３ベースタウンの魅力向上について」の取組計画の実現に関するスケジュール ３-３](#_Toc123927124)

[３-４ 「２-４受入環境整備について」の取組計画の実現に関するスケジュール ３-４](#_Toc123927125)

[４ 　取組計画の概要 ４-１](#_Toc123927126)

# 　全体構想

**形成計画の作成にあたっては、観光庁ホームページで公開している**

**「国際競争力の高いスノーリゾート形成の促進に向けた検討委員会　とりまとめ」を参考にすること。**

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/snowresort-kentou.html>

**（記載のポイント）**

**【１章全般について】**

国際競争力の高いスノーリゾートとして応募地域の目指す姿を示すにあたり、**地域全体を俯瞰した**現状分析と課題認識、取組の方針について、**本章で簡潔に全体像が把握できる**ようにする。

## 　国際競争力の高いスノーリゾート形成において目指す姿

**（記載のポイント）**

以下の項目について明記することとし、適宜図解を用いて記載する。

1. 本事業に参画するスキー場及び、スキー場利用者等がもっぱら利用する宿泊施設・飲食施設・観光施設等の所在地である「ベースタウン」を一体として、本形成計画で対象とする**「スノーリゾート」の範囲を設定し、その範囲をわかりやすく図示する**。

留意点

* **「カテゴリー」や「スノーリゾートのタイプ」の分類を踏まえ、当該エリアにおけるスキー場とベースタウンの関係**を記載する。
* 当該エリアのスキー場を利用する**インバウンドの行動パターンを具体的に想定**し、形成計画の範囲を設定する（**補助申請を希望するスキー場の集合ではなく**、周遊できる交通手段があるか等の観光地域づくりの観点から設定すること）。
1. 応募する「スノーリゾート」について、ＳＴＰ分析（※）等を行い、地域経営の観点から、**誘客のための戦略**を示す。

留意点

* 「カテゴリー」や「スノーリゾートのタイプ」の分類を踏まえ、地域の**ポジショニングを明確化**する。
* **「スキー場」及び「ベースタウン」に関する定量的データ、定性的データ**をもとに、国内外の他のスノーリゾートと比較して**差別化できる要素を明確化し、強みを生かせる独自のターゲットを設定**する。
* 形成計画の対象範囲にとらわれず、**近隣交通拠点や観光地を含めたマーケティングのエリアを設定**し、ターゲットの動線に合わせた広域的な視野での誘客戦略を示す。
* スノーリゾートが属する**自治体における、観光政策やスノーリゾート形成に関する位置づけや方針**が示されている場合は記載する。
* （※）ＳＴＰ分析については、「観光地域づくり法人（DMO）による観光地域マーケティングガイドブック」（[https://www.mlit.go.jp/kankocho/page04\_000171.html）p.47～56](https://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000171.html%EF%BC%89p.47%EF%BD%9E56)に分析方法を記載。
1. **「国際競争力の高いスノーリゾート」としての目指す姿**（目安として３年後程度）を示す。

留意点

* ②における地域分析の結果と「国際競争力の高いスノーリゾートに求められる要件（目指す姿）」をもとに、**世界に対してどのような地域として認識されることを目指すのか、明快なコンセプト**を示す。

## 　目指す姿の実現に向けた取組方針

**（記載のポイント）**

１－１で設定した「目指す姿」の**実現のための取組方針を示す。**

留意点

* ②で設定した誘客戦略を実現するために**現状で不足している点（課題設定）を明確化**する。
* 不足している点を補うための**方針と必要な取組（目安として３年後程度）を明確化**する。
* 設定した**取組を実施した結果、「国際競争力の高いスノーリゾートに求められる要件（目指す姿）」を満たす**ことをわかりやすく示す。

※　１章で記載した「必要な取組」については、２章において具体的な取組計画（**実施者・実施内容・実施時期・資金計画**）を記載すること。

## 　国際競争力の高いスノーリゾート形成に向けた推進体制

**（記載のポイント）**

以下の項目について明記することとし、適宜図解を用いて記載する。

1. スノーリゾート形成にあたり、取組における**合意形成や意思決定**がどのように行われているかを記載する。

留意点

* 「連携先」に記載した各主体の役割を明記する。
* エリア戦略を定めるための**意思決定機関やその方法**が具体的に設定されている場合は記載する。
* 共通リフト券や、地域内の二次交通、一体的なプロモーションなど、**地域内の関係者の連携と合意形成により実現させる・させた取組**があれば記載する。
1. ＤＭＯなど地域マネジメントを担う主体の組織体制を示し、**継続的にスノーリゾート地域のマネジメントを実施するための方針**を示す。

留意点

* 継続的なデータ収集・分析、取組の効果検証に基づくマーケティングの実施計画があれば記載する。
* 地域マネジメントを継続的に実施するための資金計画・人材計画があれば記載する。

※　地域マネジメントを継続的に実施し、地域の経営力を高めていくための**人材の確保・育成や安定した財源の確保**について、具体的な取組がある場合は加点要素となる。人材の確保にあたっては、専門家の招致や実務経験者の採用（兼業も含む）、地域おこし協力隊の活用などの外部人材の登用も考えられる。

※　**ＩＣＴを活用した顧客データの取得等を行い、データを取り扱う人材の確保・育成と併せ、マーケティングに活用**している場合は加点要素となる。

## 　数値目標（ＫＰＩ）

**（記載のポイント）**

様式1-2に記載した定量データ（実績値）及び数値目標について、**市場分析の結果等を踏まえた設定根拠と達成に向けた考え方**を記載する。

留意点

* 「目指す姿」が実現した場合に達成されるべき**重要目標達成指標（ＫＧＩ）や、そのために必要な要因（ＫＳＦ）**を設定の上、短期的・継続的に**検証可能**で、他地域とも比較可能な定量データとして①～⑤のＫＰＩを設定する。
* これまでに形成計画を提出したことがある地域においては、過年度の形成計画で設定した**ＫＰＩの達成状況を検証し、達成・非達成の要因を分析**した上で、コロナからの回復も踏まえた新たな目標値を設定する。

※　数値目標の設定にあたり、**③一人あたり消費額や④長期滞在者向けリフト券販売枚数の目標値に明確な根拠がある**場合は加点要素となる。

### 各スキー場の来場者数（チケット販売日数ベース）及びそのインバウンド人数

### 索道輸送人員

### 各スキー場における1人あたり消費額

### 長期滞在者向けリフト券（３日以上のリフト券・シーズン券）販売枚数

**（記載のポイント）**

各スキー場単体のリフト券の他、エリア全体で設定する共通リフト券、シーズン券等も含めて販売枚数の実績を記載する。重複した集計とならないように留意すること。

### 地域内の延べ宿泊者数及びそのインバウンド人数

**（記載のポイント）**

別荘やリゾートマンションなどの宿泊客数を把握している場合は、その数値についても記載する。

※　地域内の延べ宿泊数及びインバウンド数に加え、**平均宿泊日数等、長期滞在の状況を把握できるデータ収集をし、目標値を設定している**場合は加点要素となる。

### その他、地域において設定するＫＰＩ

※必ず改ページ

# 　現況・課題・今後の取組計画

**（記載のポイント）**

**【２章全般について】**以下の項目について明記することとし、適宜図解を用いて記載すること。

1. 形成計画の**評価の視点**として設定されている４項目**（地域のポテンシャル・地域経営（地域の一体性）｜スキー場の魅力向上｜ベースタウンの魅力向上｜受入環境整備）**について、それぞれの現状・課題・取組計画を具体的に示す。
2. 様式1-2に記載した定量データについて、特に説明が必要な点を記載する。
3. １章で記載した「必要な取組」について、より詳細に**現状と課題を掘り下げた上で、目指す姿の達成に資するための具体的な取組計画（実施者・実施内容・実施時期・資金計画）**を記載する。
4. 取組計画に記載した内容は、**３章の「今後のスケジュール」、４章の「取組計画の概要」と整合を図る**ようにし、３，４章で設定する各事業の番号を記載する。
5. 取組計画に記載した内容のうち、**補助を申請する事業については「★」を記載**し、わかりやすく示す。（審査にあたり検索に用いるため、その他の記載に「★」を用いないこと）
* **本章の取組計画に記載の無い個別事業計画（様式4）は、採択の対象としない**。

## 　地域のポテンシャル・地域経営（地域の一体化）について

### 地域内のスノーリゾートの経営の安定化、効率化に向けた取組に関する実績／計画

**（記載のポイント）**

1. スノーリゾート形成の取組が地域全体に波及効果をもたらし、観光地域づくりにつながる観点から、個別スキー場単位ではなく、**関係者連携による取組**を中心に記載する。
2. エリア内で統一してＩＣゲートを導入し、**共通リフト券**の設定を行っている場合は記載する。**（カテゴリー①の目安の一つとなる）**

※　**持続可能な地域経営**にかかる取組（自然環境の保全や地域における温暖化対策、地域の担い手の労働環境の改善や雇用拡大 、地域への経済波及効果（地域内経済循環の仕組み等）の算出等）について、具体的な取組がある場合は加点要素となる。

※　上記を含め、**SDGsの達成に向けて、具体的な取組や成果の発信**が行われている場合は加点要素となる。

※　**リフト券のエリア全体での戦略的な値上げ**や、**ダイナミックプライシング、WEB予約販売**の導入による経営の安定化を図っていることがわかる場合は加点要素となる。

※　ＩＣゲート導入と併せて**キャッシュレス決済機能を用いてリゾート内での消費を促す取組等**を実施している場合は加点要素となる。

※　**MaaS、SaaSなど、デジタル技術を活用**して来訪者の利便性を向上したり、取得した顧客データに基づきサービスを改善する取組がある場合は加点要素となる。

※　スノーリゾート内のスキー場で**連携してスタッフの確保や居住環境向上、教育等**に取組んでいる場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### スノーリゾート経営のリスク（降雪量、火山、感染症等）の分析及びその対策

**（記載のポイント）**

温暖化対策やコロナ禍からの回復等に向けて、地域で取り組む具体的な経営戦略があれば記載する。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 今後予定されている投資に関する金融機関等の参画状況や地方公共団体の支援

**（記載のポイント）**

1. 地域のブランディングや誘客戦略に大きな影響のあるような**新規開発、社会資本整備等**の計画があれば記載する。
2. 市町村や都道府県において**スノーリゾート形成に関する支援制度**があれば記載する。
3. REVICや地域金融機関、日本政策投資銀行等と連携した**具体的な投資の取組予定**があれば記載する。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

## 　スキー場の魅力向上について

### 各スキー場のコース数、総滑走距離、最長滑走距離、標高差並びにリフト・ゴンドラの本数及び築年数

**（記載のポイント）**

1. 各スキー場のコース構成（難易度）やスケール等を踏まえ、スノーリゾートの**「目指す姿」を受けたスキー場別の誘客の考え方**がある場合は記載する。
2. リフト・ゴンドラの**統廃合や掛け替え、新設の計画**がある場合は、どのように**スキー場の魅力（利便性・快適性・娯楽性）向上に貢献するか**を含めて記載する。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 各スキー場の経営状況

**（記載のポイント）**

1. 各スキー場の**所有者及び経営者**をわかりやすく示す。
2. **コロナ禍からの回復**に向けて具体的な経営戦略があれば記載する。
3. 売上や利益額の推移、施設の老朽化の状況等を踏まえ、**今後必要な投資額やキャッシュフローの改善に向けた方針**を示す。
4. １スキー場に複数の索道事業者が参入している場合は、**経営の合理化・経営統合**に向けた考え方や具体的な計画を示す。（明確な記載が無い場合は減点要素となる。）

※　索道事業者の**経営統合**が行われている、又は行う予定がある（過去３年、今後３年）場合は加点要素となる。（既に応募地域の索道事業者が１社である場合も含む）

※　**索道以外の事業（飲食・宿泊・レンタル・スクール・コンテンツなど）への参画**等により、経営改善を進めていることがわかる場合は加点要素となる。

※　各スキー場において、今後の経営合理化を目指した**マスタープランを作成し、計画的に施設整備**が進められていることがわかる場合は、加点要素となる。また、こういった計画を公表し、外部投資の呼び込みにつなげていることがわかる場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### スキー以外のコンテンツ（飲食、日本ならではの体験・娯楽、国立公園や文化財と連携した取組、山上テラス、キッズパーク、スノーシュー等）の造成に関する実績/計画

**（記載のポイント）**

1. 設定した**ターゲットに応じて、提供できるコンテンツ及びその充実**に向けた考え方を記載する。
2. コンテンツを活かした**具体的なスキー場での過ごし方のイメージや、来訪者への情報提供の状況**（ニーズに応じて実際にそれらのコンテンツを選択し、体験できるシステムが整っているか）についても記載する。

**※**地域の特色を活かした、他地域と**差別化されたコンテンツ**がある場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### スキー場内のレストハウス等の整備状況/計画

**（記載のポイント）**

1. レストハウスの整備にあたり、**スノーリゾートの拠点として担う役割**を記載する。（飲食、休憩だけでなく、買い物、娯楽を含めた滞在機能や、コンテンツの受付、情報発信機能など）
2. レストハウス等において、**ニーズに応じた多様な食を提供する**ための取組があれば記載する。
3. 老朽化したレストハウスを**撤去し、生まれる空間を利活用**する取組があれば記載する。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### スキーレッスン・スキーガイドの充実、多言語化に向けた取組に関する実績/計画

**（記載のポイント）**

1. コロナ禍からの回復を見込んだ、**インバウンドに対応できる人材確保**のための具体的な取組・方針があれば記載する。
2. スキー場直営またはスキー場と連携して実施しているスキースクールでの受入体制の状況の他、**スキー場と連携せずに実施しているスクールに対する考え方**が検討されていれば記載する。
3. スキーレッスン・スキーガイドに関するインバウンド受入実績について、**統計データ**が収集できていれば記載する。

**※**一般的なスキーインストラクターだけでなく、**バックカントリーのツアーガイドや、スキーと併せて食事やアフタースキーも対応可能なスキーガイド**などで、インバウンドに対応できる体制や旅行商品の造成例があれば加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### ゲレンデ内の託児所や休憩施設など乳幼児連れに対応した取組や、雪以外でも楽しめる工夫をした取組等に関する実績/計画

**（記載のポイント）**

**ファミリーでの来訪者**が安心して利用し、楽しむことができるための取組（スノーエスカレーターを含む。）や、**悪天候時**に楽しめる取組があれば記載する。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### レンタルサービスの充実に向けた取組に関する実績/計画

**（記載のポイント）**

1. ニーズに応じて**最新モデルやブランド品、上級者向けのレンタル等**への対応ができる場合は記載する。
2. レンタルサービスに関する**事前予約やキャッシュレス対応**をしている場合は記載する。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 各スキー場の過去４年間の営業開始日及び営業終了日（営業休止期間がある場合は明記）

**（記載のポイント）**

1. 降雪機の導入による営業日数の安定化について、これまでの補助事業等による具体的な成果を記載する。
2. 新たに降雪機を導入する必要性がある場合は、コースの利用状況等に応じた配置の合理化等を検討した上で、**優先順位を明確化し、計画的な導入**の考え方を記載する。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### グリーンシーズンの誘客のための取組に関する実績/計画

**（記載のポイント）**

1. 設定した**ターゲットに応じて、提供できるコンテンツ及びその充実**に向けた考え方を記載する。
2. コンテンツを活かした具体的な過ごし方のイメージや、**来訪者への情報提供**の状況（ニーズに応じて実際にそれらのコンテンツを選択し、体験できるシステムが整っているか）についても記載する。
3. 戦略的に**グリーンシーズンの営業を限定する・行わない（冬期に注力する）方針**を設定している場合はその理由を記載する。

**※**地域の特色を活かした、**他地域と差別化されたコンテンツ**がある場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 雪質（パウダースノー等）についての評価、それを活かした取組に関する実績/計画（バックカントリーに関する取組を含む）

**（記載のポイント）**

ゲレンデ内外での取組について、**索道事業者以外の取組も含め**て記載する。

（カテゴリー①の目安の一つとなる）

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### スキー場来場者の安全管理に関する実績/計画（バックカントリーに関する地域ルールの策定等）

**（記載のポイント）**

1. ゲレンデ内外における安全管理に関する考え方や事故発生時の救急搬送体制を記載する。
2. **多言語でバックカントリールールに関する情報提供（ＷＥＢ、スキー場内、ベースタウンの施設等）**を行っている場合は記載する。（カテゴリー①の目安の一つとなる）
3. **現地で加入できるインバウンド向けの保険**について案内を行っていれば記載する。

※　形成計画の**応募地域全体で、ルール設定や地域の状況に応じた安全対策を行い、バックカントリーを含めた利用者への周知**ができている場合は加点対象となる。

※　リフト券の**ＩＣゲート通過データ等を安全管理のために活用する仕組み**がある場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### ①～⑫以外のスキー場への投資に関する実績/計画

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 国際大会での使用実績

**（記載のポイント）**アルペンスキーに限らず、スノーリゾートとして国際的な知名度向上に寄与するような大会の実績があれば記載する。

## 　ベースタウンの魅力向上について

### 飲食店、小売店の整備状況/計画

**（記載のポイント）**

1. 旅行者の**滞在の長期化、通年化に資する泊食分離や食事の選択肢の多様性の確保**に対応するため、地域内の飲食店の現在の特性を分析した上で、ニーズを踏まえた今後の店舗誘致等の戦略を記載する。
2. コンドミニアムや別荘などで過ごすインバウンドが、**ベースタウン内で、自炊用の食材や飲料などの長期滞在のための商品を購入**しやすくするための対応ができている場合は記載する。
3. **ハイブランドのスキー・アウトドア用品等の現地調達**ニーズや高付加価値旅行者層のショッピングニーズに対応できるような、小売店の誘致等が行われている場合は記載する。

**※　地元産の商品が調達**できる、**新たな雇用**を生んでいるなど、地域への波及効果が大きい取組がある場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### アフタースキーのコンテンツ造成（スキー以外のアクティビティ、周辺観光、地域との交流、ナイトタイムを楽しめる環境づくり等）に関する実績/計画、工夫されている点

**（記載のポイント）**

1. 設定した**ターゲットに応じて、提供できるコンテンツ及びその充実**に向けた考え方を記載する。
2. コンテンツを活かした具体的な過ごし方のイメージや、**来訪者への情報提供**の状況（ニーズに応じて実際にそれらのコンテンツを選択し、体験できるシステムが整っているか）についても記載する。
3. スキー客がもっぱら宿泊するベースタウンにおけるコンテンツのほか、滞在中における**近隣観光地や都市拠点等の周遊を想定し、ニーズに合わせて多様な体験を案内・提供**できる場合は記載する。（形成計画対象エリアとその他のエリアはわかるように分けて記載すること。また、近隣観光地へのアクセスの確保についても記載すること。）

**※**地域の特色を活かした、他地域と**差別化されたコンテンツ**がある場合は加点要素となる。

※　ニーズに合わせてアフタースキーの体験プランを**コーディネートし、ガイドできる観光コンシェルジュサービス**がある場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 宿泊施設の整備状況（幅広い需要への対応、キャパシティ、スキーイン・スキーアウトできる施設等）/計画

**（記載のポイント）**

1. リゾートホテル、ペンション、旅館、民宿、コンドミニアムなど、**地域内の宿泊施設の現在の特性を分析した上で、ニーズを踏まえた今後の開発計画及び誘客の考え方**を記載する。
2. 客単価５万円/泊を超えるような、**高付加価値旅行者層をターゲットとした宿泊施設や、スキーイン・スキーアウトできる宿泊施設、スキー客を想定したドライエリア、ワックスルーム等のスキーヤー向け設備を新たに導入した宿泊施設**【R6追記】があれば記載する。
3. ホテル等の具体的な建設・誘致計画がある場合は記載する。
* スキー場のキャパシティに応じ、**バランスの取れた宿泊施設の開発計画**を立案した上で、**地域内の開発を誘導、マネジメント**できている場合は加点要素となる。
* 過度な分譲住宅（別荘）の開発を抑制するなど、持続的な観光地経営のための**土地利用に関する規制、ルール**が定められている場合は加点要素となる。
* 不動産の**所有と運営を分離**し、**複数の宿泊施設をリノベーションしてインバウンド対応に再生**するような**面的な地域づくりの取組**がある場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### ①～③以外のベースタウンへの投資に関する実績/計画

**（記載のポイント）**

1. スノーリゾートが属する自治体における、**ベースタウンの観光地域づくりに関する方針**があれば記載する。
2. 景観整備や交通結節点整備、交通安全対策、渋滞対策、バリアフリー化、ウォーカブルな街路空間づくり、駐車場の効率的な配置、グリーンスローモビリティの導入など、**地域の魅力向上に寄与する取組**があれば記載する。
3. その他、独自性の高い観光施設の誘致や宿泊施設以外も含めたスキーヤー向け設備の導入など【R6追記】、他地域と**差別化できるベースタウンへの投資**について記載する。

※　**エリア全体で通年型リゾートを目指し**、夏季も含めた誘客のために必要な施設の誘致やコンテンツ造成等を行っている場合は加点要素となる。

※　スノーリゾートの滞在環境を充実することにより、地域に**新たな雇用や経済波及効果**を生んでいる状況について、**定量的に実績**を示すことができている場合は加点要素となる。

※　これらの投資に関する計画に際し、**デジタル技術を活用して地域で収集した顧客データ等に基づき、集客上のボトルネック等について分析・検討**を行っている場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

## 　受入環境整備について

**（記載のポイント）スキー場及びベースタウンそれぞれ**におけるインバウンドを受け入れるための基本的な環境整備について記載する。

### 多言語対応の取組に関する実績/計画

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 地域全体で行う多言語での情報発信の取組に関する実績/計画

**（記載のポイント）**

1. **応募地域を一体とした多言語対応のポータルサイト**を構築していれば記載する。
2. **インバウンド向け口コミ・SNS投稿促進**のための取組内容を記載する。
3. スノーリゾート来訪者向けの**アプリケーションを構築、または世界・国内共通で利用できるアプリケーションへの対応、リフト運行情報やゲレンデの混雑、二次交通の混雑・運行情報などのリアルタイム情報の提供**【R6追記】を行っていれば記載する。

※　地域一体的な情報発信と併せ、リフト券やレンタル・スクール、地域内外で体験できる多様なコンテンツ、交通手段などについて、**一つのポータルサイトから多言語での事前予約・キャッシュレス決済対応**ができている場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 無料Wi-Fi環境の整備状況/計画

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### キャッシュレス（クレジットカードを含む）決済環境の整備状況/計画

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 公衆トイレ洋式化の状況/計画

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

### 主要交通結節点からの二次交通及び地域内の二次交通の整備状況/計画

**（記載のポイント）**インバウンドの移動パターンに対応した二次交通整備の考え方を記載する。

1. 国際空港からスノーリゾートまでの基本的な交通手段を記載した上で、**利便性確保のボトルネック**になっている箇所があれば、改善に向けた考え方や取組を記載する。
2. **スキー場間を周遊する二次交通**（シャトルバスなど）があれば記載する。（カテゴリー①の目安の一つとなる）
3. **長期滞在、泊食分離ニーズに対応するための二次交通**確保（レストランや道の駅、近隣観光地等）のための取組があれば記載する。
* 二次交通を活用して地域を周遊させることにより、**地域内での更なる消費を促すような取組**がある場合は加点要素となる。

【現状】

【課題分析】

【取組計画】

※必ず改ページ

# 　今後のスケジュール

## 　「２-１　地域のポテンシャル・地域経営について」の取組計画の実現に関するスケジュール

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 事業名 | 実施主体 | 取組の具体的内容 | スケジュール |
| 令和５年度（2023年度） | 令和６年度（2024年度） | 令和７年度（2025年度） | 令和８年度（2026年度） | 令和９年度～（2027年度～） |
| 1-1 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 1-2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 1-3 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 1-4 |  |  |  |  |  |  |  |  |

※必ず改ページ

**（記載のポイント）**

* 国際競争力の高いスノーリゾートを実現するために、いつまでに何をするのか具体的に示すこと。
* 目安として３年とするが、令和９年度以降にも計画が及ぶ場合は、その計画、取組についても示すこと。
* 「４　取組計画の概要」の記載と整合をとるとともに、２章の該当する箇所に事業のNo.を記載すること。
* 必要に応じて行を追加すること。
* **補助金による支援を申請するものについては、赤字で記載すること。**

## 　「２-２　スキー場の魅力向上について」の取組計画の実現に関するスケジュール

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 事業名 | 実施主体 | 取組の具体的内容 | スケジュール |
| 令和５年度（2023年度） | 令和６年度（2024年度） | 令和７年度（2025年度） | 令和８年度（2026年度） | 令和９年度～（2027年度～） |
| 2-1 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2-2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2-3 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2-4 |  |  |  |  |  |  |  |  |

※必ず改ページ

## 　「２-３　ベースタウンの魅力向上について」の取組計画の実現に関するスケジュール

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 事業名 | 実施主体 | 取組の具体的内容 | スケジュール |
| 令和５年度（2023年度） | 令和６年度（2024年度） | 令和７年度（2025年度） | 令和８年度（2026年度） | 令和９年度～（2027年度～） |
| 3-1 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3-2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3-3 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3-4 |  |  |  |  |  |  |  |  |

※必ず改ページ

## 　「２-４　受入環境整備について」の取組計画の実現に関するスケジュール

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 事業名 | 実施主体 | 取組の具体的内容 | スケジュール |
| 令和５年度（2023年度） | 令和６年度（2024年度） | 令和７年度（2025年度） | 令和８年度（2026年度） | 令和９年度～（2027年度～） |
| 4-1 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4-2 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4-3 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 4-4 |  |  |  |  |  |  |  |  |

※必ず改ページ

# 　取組計画の概要

★4-2

1-1　域内スキー場の経営統合に向けた検討

★2-1　○○スキー場老朽化リフト撤去工事

2-2　雪崩対策工事

★3-1　○○コンテンツ造成事業

★4-1　宿泊施設におけるキャッシュレス端末導入事業

★4-2　スノーシャトル導入実証事業

･･･

**（記載のポイント）**

* 形成計画に記載した取組計画について、どこで何を実施するのか、地図等を用いて明記する。
* 「３　今後のスケジュール」の記載と整合をとるとともに、２章の該当する箇所に事業のNo.を記載すること。
* **補助金による支援を申請するものについては、位置図及び一覧に「★」で示すとともに、赤字で記載すること。**

■1-1

**形成計画の範囲**

○○スキー場

○○ベースタウン

○○スキー場

○○スキー場

■2-2

★2-1

★4-1

★3-1

○○駅